

泉佐野
発

日本一の「まちづくり」

自由民主党 泉佐野市会議員団

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす

6月定例議会



6月定例議会

6月10日(水)から26日(金)までの17日間、泉佐野市議会では6月定例議会が開会され、上程されました議案は以下のとおりとなっております。

- 動産の購入について (古くなった給食センターの食器洗浄システムの購入)
- 動産の購入について (古くなった学校給食用食器の購入)
- 動産の購入について (水槽付消防ポンプ自動車(空港分署)の購入)
- 動産の購入について (水槽付消防ポンプ自動車(消防本部)の購入)
- 泉佐野市立文化会館条例の一部を改正する条例制定について (泉の森ホールの利用料金を指定管理者の収入とする条例制定)
- 泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について (地方税法の改正にともなう条例の改正)
- 泉佐野市立泉佐野駅前市民サービスセンター条例及び泉佐野市立消費生活センター条例を廃止する条例(センタービル内の市民サービスセンターを駅前に移すための条例)
- 損害賠償の額を定めることについて (市立病院で発生した医療事故の損害賠償(328万円))
- 平成21年度泉佐野市一般会計補正予算(第1号)
(火葬場建設のための債務負担行為、泉佐野駅前駐輪場の整備、緊急雇用など)
- 平成21年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(緊急雇用)
- 平成21年度泉佐野市病院事業会計(第1号)
(独立行政法人に移行するための債務負担行為など)

5月の議会の改選によりまして私は厚生文教委員会に所属することになりました。厚生文教委員会には議案「損害賠償の額を定めることについて」が付託されました。これは平成19年12月に市立泉佐野病院におきまして医療事故が発生し、その賠償金として328万円を支払うものであります。「医療事故」となると「何や、手術でミスでもしたんかいな。」と一般的に誤解されがちですが、ここで少し「医療事故」と「医療ミス」の違いを説明させていただきます。今回の医療事故が起こった手術は、心臓近くの大動脈の「こぶ」を除去するようなかなか難しいものらしく、手術自体は成功し、患者さんは一命を取り留めています。しかし手術中に心肺装置を取り付けなければならなかったため、それを取り付けるための処置を施したときに右脇下の神経を傷つけてしまった可能性が高く、右手に「しびれ」の後遺症がのこったという

ものです。このような病院側に過失があるかどうか微妙なものについては「医療事故」であり、「医療ミス」とは輸血する血液型を間違ってしまったり、手術する箇所を間違ってしまったことなどで明らかに病院側に過失があるものを言います。だから市立病院で「医療事故」が起こったとなったら「市立病院は今あかんあ。」との風評につながってしまったがちですが、「医療事故」と単純なミスである「医療ミス」は違う事柄だということをご説明させていただきました。

上程されました議案は最終日である26日の採決によりまして、一部の反対はあったものの全て原案どおり承認されました。

6月議会一般質問

6月24日(水)に約1年

3か月ぶりに本会議場におきまして自由民主党泉佐野市議員団を代表して一般質問をいたしました。初当選の2000年2月以降、副議長を務めていた期間以外は毎議会一般質問をしてまいりました。泉佐野市議会では議長、副議長は一般質問をしないということになっていきますので、久しぶりの一般質問でした。今回はその中で「新型インフルエンザへの対応について」(泉佐野市第4次総合計画について)などの質問いたしました。

○新型インフルエンザへの対応

世界保健機構(WHO)が新型インフルエンザの警戒基準を世界的大流行(パンデミック)にあたる「フェーズ6」に引き上げました。南半球が冬を迎えるにつれ、新型インフルエンザの感染者が急増していることが判断の理由とされています。新型インフルエンザのパンデミックは100万人がとどまらなくなったとされる1968年の「香港風邪」以来41年ぶりということですが、ただ今回の新型インフルエンザは警戒水準は最高で死亡例はあるものの、持病がなければ軽症ですむといったことで日本国内におきましても同様の感染例でした。

WHOが今回のフェーズの引き上げに伴って感染例のある国に求めた対応は感染の拡大の防止であります。今後、感染が拡大すればウイルスが変異して強い病原性をもったものに変貌するかもしれないとされています。感染が下火になった、また今回は弱毒性であったとは言え、日本におきましても、これまでの取組を点検して備えを充実させることが必要であり、とりわけ関西国際空港の直近である泉佐野市にとっては慎重かつ入念な対応が必要であると考えます。実際に泉佐野市でも感染された方がありました。そういった観点から「新型インフルエンザへの対応について」の質問をいたしました。答弁の中で課題といたしましたのは、「市立病院における発

熱外来の設置」、「日頃からの緊急事態を想定しての対応」、「市民の方々への啓発」、「必要物品の備蓄」などが上げられました。今回の新型コロナウイルスの日本国内での感染拡大を教訓にして、冬に向けて取り組まなければならない課題は泉佐野市に多くあります。それらの課題解決に向けての対応を市の担当職員にこれからも私は強く求めていきます。

○歴史ある迎都

総合計画は、都市の基本理念や将来像、その都市像を実現するための政策の方向性を示した計画であり、全ての市町村で策定されているものであります。1969年(昭和44年)の地方自治法改正により、市町村は「基本構想」を議会の議決を経て定めることが義務づけられました。この「基本構想」と、これに基づいて定める「基本計画」「実施計画」を合わせて「市町村総合計画」と呼びます。

泉佐野市におきましては、第3次総合計画の将来像の考え方を発展させ、また「ひと」と歴史を大切にす

る視点をさらに踏み込ませた「賑わいと歴史ある迎都 泉佐野 ひとを育み ひとにやさしく」

を将来像に、第4次泉佐野市総合計画基本構想が策定され、3月の定例議会におきまして承認されました。

今回の総合計画については、それぞれの基本計画の段階におきまして「めざそう値」という数値目標を掲げているのが特徴的であります。地方自治体を取り巻く環境が大きく変化しているなか、これからの総合計画は「財源の裏付けがあり、施策・事業の重点化をおこなう戦略的計画」とすることが求められていると言われています。しかしながら今回策定をいたしました総合計画、その中の「基本計画」に関しては「めざそう値」は導入してはいるものの、その財源的裏付けや「めざそう値」により近づかせるための手法などは盛り込まれていません。泉佐野市が早期健全化団体の適用を受けるにあたってこれから秋にかけて財政健全化計画を策定していきますが、これによって総合計画の「めざそう値」どころか、財政健全化計画の方が優先順位の前に来て、総合計画自体が第3次総合計画の来た道を繰り返す、全くの有名無実化していくのではないかと私は懸念いたしております。

現在、泉佐野市議会議員は21名いますが、この第4次泉佐野市総合計画の策定に始めの段階から参画したのは私だけあります。当初は(社)泉佐野青年会議所理事長として参画させていただきました、そして途中からは議事代表である泉佐野市議会議長として策定の最初から最後まで「総合計画策定審議会」の委員として携わ

5月臨時議会

りました。この総合計画を有名無実化させないためにも今回の議会では「総合計画と財政健全化計画の整合性がきちんと図れるのか？」といった内容の質問をいたしました。それに対しての答弁は行政評価システムの施策評価を通じて「めざそう値」の検証をしていくとありました。今後は第4次総合計画における「めざそう値」の到達状況や総合計画からかけ離れるような泉佐野市の動きに対しては厳しくチェックをしてまいりたいと考えています。

5月21日に泉佐野市議会は臨時議会を開会し、新しい正副議長を選出いたしました。新しい議長には戸野茂議員(会派：民主党、期数：6期目)、副議長には奥野英雄議員(会派：自民党、期数：2期目)がそれぞれ選ばれました。私は今回の改選で、所属する自由民主党泉佐野市議員団の幹事長に就くことになり、副議長会派の幹事長は議会運営委員会の副委員長に就任するという先例がありますので、議会運営委員会の副委員長に仰せつかることになりました。議会運営委員会の委員長は民主党会派の野口新一議員です。

振り返ってみますと一年前の臨時議会で議長に就任させていただきましたときには、前の鈴木議長の時代からありました関空連絡橋国有化による泉佐野市の大幅な固定資産税の減収といったとても大きな懸案事項が残っていました。この問題に対して、市議会としては昨年の7月18日に超党派の大多数の議員で国に要望活動をおこない、また8月19日の臨時市議会では法定外税である「泉佐野市空港連絡橋利用税条例の制定」を議決しました。

このような一連の市議会としての動きが、固定資産税の大幅な減収に代わる国の支援策を勝ち取ることができたのではないかと考えています。全国的に泉佐野市、泉佐野市議会の動向が注目を浴びた時期に議長という大役を務めさせていただいたことは私にとりまして、かけがえのない経験となりました。また議会代表として「第4次泉佐野市総合計画策定審議会」「法定外税導入検討委員会」「指定管理者制度評価委員会」などに委員として参画し、多数の有識者の方々と同様な議論を交わせたことも貴重な経験となっております。

これからは早期健全化団体の適用を受ける泉佐野市が再び自信と誇りを取り戻せるように、一議員に戻りましてからも、これらの経験を活かして、さらなる泉佐野市発展のため弛まぬ努力をしていきたいと思っております。

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開説いたしました!

Izumisano未来日誌

検索

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々と意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております!

第55回「かけはし」…	7月23日(木)
第56回「かけはし」…	8月27日(木)
第57回「かけはし」…	9月17日(木)

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 時間 19:30~20:30

● 参加費

無料

連絡先: 泉佐野市松原2-5-31 TEL 458-1708 FAX 469-0311
ホームページ: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール: chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 609,500部 第59号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。

千代松大耕 プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米國Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選

(現在)

- (社) 泉佐野青年会議所 直前理事長
- (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
- 泉佐野市バレーボール連盟 会長
- 泉佐野市柔道連盟 理事
- 泉佐野市青少年指導員
- 泉佐野市交通指導員
- 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問



石原のぶてる自民党幹事長代理と

(議会)

- 2003.5 市町村合併検討委員長
- 2004.5 第61代副議長
- 2005.5 厚生文教委員長
- 2006.5 監査委員
- 2007.5 行財政委員長
- 2008.5 第65代議長
- 2009.5 議会運営副委員長

- 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
- (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
- 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
- 同志社大学校友会泉州クラブ副代表
- 佐野中柔道部OB会 相談役
- 日本教育再生機構大阪 泉佐野支部長
- 看護を考える地方議員の会 副幹事長
- 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長
- 自由民主党大阪第19選挙区支部 青年部長